

# 平成28年度ホタテガイ採苗通報(第2報)

平成28年4月21日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743  
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp  
 HP:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/  
 Facebook:https://www.facebook.com/kesuishi  
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852  
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138  
 県漁協各支部青年部・研究会

- ・ ホタテガイ浮遊幼生は先週より若干増加していますが、中小型(250 $\mu$ m未満)主体で大型幼生(250 $\mu$ m以上)が確認されていないことから、まだ採苗袋の投入時期ではありません。
- ・ 一方、今年の水温は例年よりも1~2 $^{\circ}$ C高めとなっております、例年より採苗袋の投入時期が早まると予想されます、早めに準備してください。
- ・ なお、ホタテガイ母貝(蔵内)の産卵は徐々に始まっていると思われ、今後、浮遊幼生も増加していくと思われ。

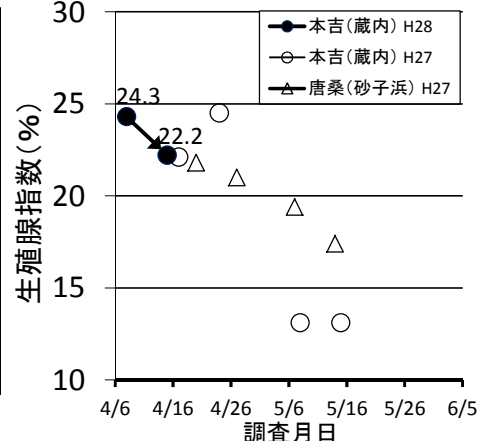
## 《調査結果の概要》 調査日:4月20日

- ・ 調査地点の表層水温は9.8~10.2 $^{\circ}$ C、10m水温は9.0~9.2 $^{\circ}$ Cで、先週より表面で0.6~1.0 $^{\circ}$ C上昇、10mで0.1~0.2 $^{\circ}$ C上昇しました。なお、昨年同時期の表層水温は8.2~8.7 $^{\circ}$ C、10m水温は7.3~8.2 $^{\circ}$ Cでしたので、表層・10mともに昨年より1.5 $^{\circ}$ Cほど高くなっています。
- ・ ホタテガイ浮遊幼生は、気仙沼湾口部の岩井崎で28個体/m<sup>3</sup>、大島の大前見で3個体/m<sup>3</sup>、唐島で14個体/m<sup>3</sup>と、先週より増加しましたが、まだ多くはありません。なお、岩井崎と大前見は中型幼生(150~250 $\mu$ m)主体、唐島は小型幼生(150 $\mu$ m未満)主体でした。
- ・ ムラサキイガイ(シウリガイ)幼生も、ホタテガイと同様に多くはないですが確認されています。
- ・ ホタテガイ母貝(蔵内)の生殖腺は成熟しており、生殖腺指数も24.3%(4/8)から22.2%(4/15)に低下していることから、徐々に産卵が始まっていると思われ(産卵開始は昨年より早い)

表 浮遊幼生調査結果

調査点 (調査月日)	水温( $^{\circ}$ C) 表層/10m	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m <sup>3</sup>		その他 (ムラサキイガイ等) 幼生数 個体/m <sup>3</sup>
		250 $\mu$ m未満 (小型~中型)	250 $\mu$ m以上 (大型)	
岩井崎 4/20	9.8/9.2	28	-	21
大前見(大島) 4/20	10.2/9.2	3	-	4
唐島(大島) 4/20	10.1/9.0	14	-	39

図 生殖腺指数の推移



## 県外情報

### 青森県(4/21)

- ・ 陸奥湾における浮遊幼生の出現数は西湾、東湾とも過去10年の同時期の平均値よりも多い状況。陸奥湾全域で、採苗器の投入完了を呼び掛けている。

### 岩手県(4/13)

- ・ 小型幼生は増加傾向、稚貝の付着はまだ見られない、水温は高めで推移。

次回の通報発行は4月27日頃の予定です。